

れいわ ねん ど
令和6年度

だい かい こ さい し た ぶん か きょうせいしやかいすいしんきょう ぎ かいかいぎろく
第2回湖西市多文化 共 生社会推進 協 議会会議録

き ろくしゃ し みる か
記録者 市民課

にちじ れいわ ねん がつ にち すい
日時：令和6年8月7日（水）9：00～11：30

ばしょ こ さい し ぼう かい
場所：湖西市防災センター2階

しゅつぎしや たかはたさちかいちよう なかむらてつ やぶくかいちよう くめよしゆきいん ないとうまさみちいん しげい
出席者 高畑幸会長、中村哲也副会長、久米好之委員、内藤雅道委員、重井アマンダ委員、
すえよし ゆ か い いん かわかみかおるいん たかはしのりこいん こばやしそのこいん すずきとしきいん
末吉由佳委員、川上 薫 委員、高橋典子委員、小林園子委員、鈴木芳樹委員、
たかはしとしひろいん みしままさみ いん
高橋俊裕委員、三島昌美委員

じむきょく し みる あんぜんぶちよう やまもとけんすけ し みる か ちよう つちやたかひろ
事務局 市民安全部長 山本健介、市民課 長 土屋隆浩、
し みる か きょうどうきょうせいかりちよう こばやしけいこ し みる か きょうどうきょうせいかり まついはるか
市民課協 働 共 生 係 長 小林景子、市民課協 働 共 生 係 松井春華

1. かいかい
開会
2. かいちよう
会 長あいさつ
3. ぎだい
議 題

ぎだい だい じ こ さい し た ぶん か きょうせいすいしん さくてい む じつたいちようさ
議題(1)第4次湖西市多文化 共 生 推進プラン策定に向けた実態調査について

せつめいしりよう かくにん
《説明資料の確認》

- ・ ぜんかいちようさひようあん ほとんどの ぶぶん で問がずれているので、 あたら といばんごう せつめい
・ 前回調査票案からほとんどの部分で問がずれているので、新しい問番号で説明する。
- ・ み け もと ぶんしよう しゆせい ぶぶん み あかじ か ひつしゅうせい
・ 見え消しとは…元の文章に修正した部分が見えるように赤字で加筆修正したもの。

にほんじん し みる い し きょうさ
●日本人市民意識調査について

じむきょく せつめい にほんじんたいしちようさ
《事務局説明（日本人対象調査）》

しりよう しりよう ぜんかいちようさひよう あん いいん いけん はんえいないよう せつめい
資料2-1、資料4 により、前回調査票（案）への委員意見と反映内容について説明

いいん いけん
《委員意見》

とい がいこくじん い か つき あ せんたくし
問33「あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。」の選択肢について

（委員） せんたくし 10 「近所に住んでいることはしているが、付き合いを持ったことはない」
と せんたくし 11 「外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」の棲み分けが難
しい。どちらにつけるか迷う。

（事務局） つぎ の とい りゆう か な せんたくし 2 ともよいし 両方つけても
よいことを想定している。

(会長)「知り合い」という言葉をどのようにとらえるかだと思う。あいさつもしないとはどのような状態か。近所に外国の方かなとおもう方が住んではいるが挨拶もしない、関わったこともないのが選択肢10。選択肢11はどのような状態か。

(委員) 選択肢11は近くに住んでいることも知らないような状態かなと感じる。

(会長) いずれにしても日本語の読解力が求められて、答えづらい選択肢だとは思う。選択肢10と選択肢11はまとめたほうがよい。

(事務局) 近隣の付き合いについては設問35、36でも聞いているので、選択肢10、11はまとめていきたい。

(会長) 選択肢10、11をまとめた場合は「近所に限らず」とつけるかどうか。選択肢10をやめて選択肢11で「付き合いはないこと」を聞くようにまとめていただく。

(委員) 設問で「外国人と」と聞いているので選択肢9からも「外国人と」という言葉は除いてもよいのでは。

問43「日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。」について

(委員) 問43は、行政がやるべきことを聞いているが選択肢がざっくりしすぎていてすべて○をつけてしまうのでは。アンケートの結果を見て行政のやるべきこと、やめることがわかるような具体的な内容を聞いた方がよい。重要な設問だと思う。このアンケートを漠然と取っては次のアクションにつなげられない。予算をかけてやるべきテーマだったり、もう少し中身自体を考えると。

(会長) 現状では当たり障りない選択肢で、おおよそ他自治体でも同じような聞き方をしているとは思いますが、回答する側が「これは絶対にやってほしい」ということを明らかにできるような選択肢にすることが必要というご意見。現状で「その他」欄がないのでそれは入れてもらった方がよい。

(委員) たしかに選択肢はどれも重要だと思うが、例えば重要視しているものを2つ選んでもらう。と重視している部分が見えるのでは。

(委員) 最終的にこのアンケートをとって行政がこうやっていこうと判断できるものを決めるのがアンケートの目的では。現在の選択肢は既にやっているし、やるべき内容。その程度しかやる気がないのかと思ってしまう。

(会長) 今ある選択肢は現状やっていることだと思う。委員の意見は、さらに強化してほしいところや、これから新しくやってほしいことをアイデアとして出してほしい、ということかと思う。私は後者の方がいいかと思う。それを聴くために、どのような問いをしていくかになる。

(事務局) この設問は第1回のプラン策定時からほとんど変わっていない設問と思われ、経年で状況も変わってきている。過去には実施できていなかった選択肢も、現在では十分にできているかは別としても事業としてやっていることが増えてきている。何をやるべき

かというよりは、何が必要とされているか。選択肢の再検討をしたい。

(委員) ここが一番大事。アンケートの結果を元にどういうふうに行政がやっていくかというのを決めるためにやっている。外国人との共生に踏み込んでいないのでは。SNS などコミュニケーションツールもあるので外国人と SNS で交流するなどの内容が一切ない。行政自体が深く考えてやれることやれないことも含めて選択肢を再考してほしい。

(委員) 外国人の意見を聞くということと外国人のリーダー的な人との対話が重要。外国人との対話が入っていないと思う。

(会長) 選択肢の中で、地域での多文化共生を推進されるよう、市から自治会に支援する・仲介するという選択肢を入れるとか。

(委員) 行政や自治会を含めて、外国人の意見を聴きだす、地域が思っていることを言うという場が一番大事ではないか。問43 は全部やるべきだが。日本人の一方的な考え方を押し付けているようなもの。

(会長) 地域社会で外国人の方が増えた状態での自治会の在り方に対して、行政のコーディネート機能を使った話し合いの場をつくるという、新たな選択肢を考えると同時に、実際に話し合いの場を積極的に作るということも重要だと思う。問43 は、サーベイリサーチさんからも他の自治体ではこんな項目がありますよという提案をいただきたい。

問42「地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身は何をすべきと思いますか。」について

(会長) 選択肢6で「外国の言葉や文化の継承に理解を持つ」というのは、子どもさんたちに母語や文化を伝えるということだと思うが、「継承」は難しい言葉なので、言い換えを。

(会長) 資料4 の3 ページ「外人、外人さんが差別用語であることを知っていますか」という設問を追加するかどうかについて。世代によってこの言葉の捉え方は違うかもしれない。昭和世代はよく使っていて、平成に育った人は使っていないという気もする。そこに悪気があるかどうかの判断は難しい。言葉の使い方は時間とともに変化していくもので、世代による言葉の感覚の違いもあるので、誰がどう使うかを突き詰めてしまうのも難しい部分かなと感じる。

(委員) 外人という言葉が外国人自身がどう感じているのかだと思うがいかがか。

(委員) 私は、外人さんと外国人という言葉はあまり違いを感じない。「外人さん」「外国人」とあっても中国語に訳すときには「外国人」。言葉が時代とともに変わっていくもので使っていくうちにレギュラーだったものがイレギュラーになっていたり。

(委員) 人によるとは思うが「外人、外人さん」と使われて気になる人もいるし、子供たちも「外人」と聞くと結構敏感に反応する。あまり使わないほうがいいと思う人が増えていくからこそ時代とともに変わっていくと思うので、考えるきっかけがあることはいいことだ

と思う。

(会長) 話し合いや話を聞く機会をもつ価値がある内容だと思う。

●外国人市民意識調査について

《事務局説明》

資料2-2、資料4により、前回調査票(案)への委員意見と反映内容について説明

《委員意見》

(会長) 外国人向け調査はできるだけ文字を少なくシンプルにしてほしいと思う。

問35「あなたのこどもは、湖西市の小中学校や幼稚園・保育園・こども園に行っていたり、行ったことがあったりしますか。」について。

(委員) 「あなたのこどもは…行ったことがあったりしますか」は「行ったことがありますか」ではだめか。

(事務局) 過去に行ったことがあるか?を聴くために「行ったことがあったりしますか」を入れているが、わかりづらい表現になってしまっている。

(会長) 回答できるのは、湖西市内の中学校に通っている年齢の子をもつ保護者までなので、シンプルに「行っていますか(いましたか)。」でいいのではないか。

問13「あなたの職業はどれですか。」について

(委員) 仕事については、日本人向けでもそうだが選択肢7「自営業」と選択肢8「経営者」は同じではないか。

(会長) 今回の調査は大規模ではなく回答者数が少ないので、自営業を削って、経営者にまとめていいと思う。

問5「あなたが一番できる言葉を教えてください。」について

(委員) 「あなたが一番できる言葉」の「できる」とはどういったニュアンスか。

(事務局) 「最も得意な言語」をやさしい日本語にするときに「一番できる」と表現をした。

(会長) あなたが一番できる言葉というと「あなたが一番わかりやすい言葉」という意味で問題ないか。

(委員) 「一番よく使う言葉」

(委員) 「一番よくわかる言葉」「一番使いやすい言葉」

(会長) 「一番使いやすい言葉」が良いのではないか。

問22「あなたはどのような日本語教室へ行きたいですか。」について

(委員)「親子で学べる日本語教室」という選択肢を入れるのはどうか。親が小さい子どもを日本語教室に連れてくることもあるので。

問19「あなたは、日本語をどのように勉強していますか。」について

(委員)「オンラインの日本語講座で」よりもアプリで勉強している人も多い。「アプリやYouTubeで」といった選択肢があってもよいのか。

(事務局)オンラインの日本語講座では、リアルタイムで人間が行う講座を想定している。

(会長) 選択肢「4日本語教室」は「日本語教室(対面で)」。

日本語講座と日本語教室の違いは伝わらない。若い人はテレビを持っていない人も多い。漫画も紙の漫画を読まない人もいる。そういったことを考えていくときりがなくなってくる。YouTubeは入れた方がいいかと思う。

(委員) スマホの翻訳機能を勉強や会話に使う人もいる。

(会長) そういったツールがどんどん発達しているので、機械翻訳を選択肢に入れてもよいのでは。日本語は「日本語を習得した人が教える」ものと捉えがちだが、現代ではほかのツールや選択肢も多くありそれを否定するものでもない。日本語はほとんどできないがコミュニケーション手段としてスマホやアプリの翻訳機能を使うか、というのは、どこかで尋ねるといいのではないか。検討してほしい。

(委員) 選択肢9「勉強していない」はいらないのではないか。

(会長) この選択肢がないと、勉強していない人がこの問いに回答できなくなってしまう。たとえば日本育ちで日本語話者なので勉強の必要はない人もいる。この問いの前に「日本語で何か困っていますか」という設問を入れて「困っている」「困っていない」と選んでもらって「困っていない」なら日本語学習の必要がない人とすることもできる。設問として増やすか、選択肢9「勉強していない」を残すか検討してほしい。

問22「あなたはどのような日本語教室へ行きたいですか。」について

(会長) 選択肢2と3は「読み書き」と一緒にしてもよいと思う。選択肢7は「夜に行ける日本語教室」だけでもよいと思う。選択肢8は「日勤・夜勤があっても」は削ってもよいのでは。自分の勤務形態にあった日本語教室ということであれば「その他」に書いてもらえる。

●事業所調査について

＜事務局説明＞

資料2-3、資料4により、前回調査票(案)への委員意見と反映内容について説明

《委員意見》

問24「外国人従業員に求める日本語能力は何ですか。」

(委員) 選択肢6「日本語能力は必要ない」はありえないので削除していいのでは。

問28「奨励していない理由は何ですか。」について

(委員) 日本語学習を奨励していない理由を細かく聞いてどうするのか。活かすことがないなら最小限にしてもよいのでは。

(委員) 外国人の方が経営している事業所にも調査はいくのか。湖西市には日本語ができない事業者の(たとえば古物商など)方もいる。そういった方が回答できないのは不親切な気もする。

(事務局) 500社を無作為抽出で調査を出すので、外国人が経営する事業所に調査票が行く可能性はある。経営している方なら日本語がわかるのではと考えていたので、翻訳は予定していない。

(会長) そこは回答がなかったとしても仕方ないかもしれない。

問23「回答日時時点で、貴事業所では外国人が働いていますか。」について

(委員) 選択肢6は「特定技能生」ではなく「特定技能」が正しい。この人数は湖西市に住んでいる人だけか？

(事務局) 居住地は問わない。

問25「貴事業所における外国人従業員への日本語研修を奨励していますか。」について

(会長) 「貴事業所では日本語学習を奨励していますか」にしてはどうか。従業員の日本語能力が十分で日本語学習の奨励を事業所としてする必要がないところもある。

(会長) 問32と33が2回出てきているので修正を。「積極的に採用したい、採用は控える又は縮小する」の回答理由の選択肢に「専門職人材の確保」と入れてはどうか。エンジニアなどを直接採用するケースも増えている。

●全体について

《事務局説明》

資料4により、前回調査票(案)の全般的な内容への委員意見と反映内容について説明

《全体意見交換》

(委員) アンケートの中身を精査した後のスケジュールを知りたい。

(事務局) アンケートの精査後、翻訳などを含めて11月中に対象者に送るように準備をする。集計を年明け頃に終えて、年度内にアンケートの報告書を取りまとめる。アンケート結果の分析やこれまでの会議で出されている課題を取り上げて、来年度早々または日程的に早まれば今年度にもう一度会議を行い、課題の抽出・プランの骨子作りを進めていく。

(委員) この委員の任期が今年度までとなると、協議内容は実態調査までとなり、来年度は新たなメンバーとなる。

(事務局) できる限り同じメンバーにお願いしたいと考えている。

(会長) サーベイリサーチセンターの方へ、類似調査のおおよその回収率について教えてほしい。

(サーベイリサーチセンター) 対象者によって回収率は異なるが、40%を超えると多い、30%を切ると少ない。外国人調査は言語の壁もあり回収率が低くなる傾向がある。日本人調査で40%くらい、外国人調査で30%くらいが妥当。

(会長) 回収率について了解した。特に外国人調査は、なるべく文字数、選択肢数を減らして「その他」で意見をもらおうといった工夫が必要。外国人調査で大切なのは特に封筒。日本語で書かれた封筒を捨ててしまうことが多い。ノウハウも生かしながら、回収率を上げる工夫ができるとよいと思う。また、依頼文の中に「日本人が減って外国人が増えている」という人口トレンドを一文入れるといいと思う。「郷に入っては郷に従えという態度の人もある」という意見もあったが、現代では「日本人」の減少により「郷」の状態が変わってきている。多文化共生という課題意識を持ってもらいやすいのでは。

(委員) 事業所調査の調査票に外国人意識調査も同時期に実施していますなど一言入れたらどうか。

(会長) 外国人従業員から「こんな調査がきたけど」と相談を受ける事業者もいるかもしれない。そういった配慮をするとよいのではないか。

以上